

教科名	国語	科目名	古典	履修クラス	3年選択	
				担当者	重村 弘之	
使用教科書		古典 右文書院			履修単位数	2
副教材等		『標準新古典文法』文英堂 『増補四訂 カラー版 新国語便覧』第一学習社 『入試頻出 パスワード 古文単語』浜島書店				

学習のねらい・育てたい力・目標	評価の観点・評価方法など
2年次に学習した文法と古典の知識を応用し、古典作品を読み解く力を涵養する。 大学進学に対応する古典問題の解答力をつけるだけでなく、進学後の学業に資する教養を養う。	定期試験の得点に加え、課題の提出状況、授業への参加態度等を勘案して、総合的に評価する。

年間授業計画			
月	予定時数	単元	学習内容・学習活動
4	中間 考查 まで 12	物語	『大鏡』 「花山院の出家」「隆家と道長」 物語の登場人物、その関係、出来事の推移を大きく掴み、粗筋を把握する。 文法的事項の復習をし、識別へとすすむ。 文学史的な事項を確認し、中古文学への理解を深める。
5			
6	期末 考查 まで 14	物語	『源氏物語』 「桐壺」「若紫」 『源氏物語』の作品世界を理解し、物語の登場人物の関係・心理を文法的な知識を用いて、読解する。
7			
9	中間 考查 まで 14	物語	『源氏物語』 「夕顔」「葵」 1学期に学習した知識をさらに確かなものし、『源氏物語』の「あはれ」について考え、人の一生への理解を深める。
10			
11	期末 考查 まで 14	日記・紀行	『更級日記』 「あづま路の道の果て」「源氏の五十余巻」 『源氏物語』の作品世界を理解し、女流日記の成果を学び、物語へのあこがれと人生観照について考える。
12			
1	学期 末考 査ま で 4	問題演習	各自の課題による学習
2			
3			

担当者からのメッセージ (授業の受け方・家庭学習の仕方・受験勉強の仕方等)
本文を写し、辞書などを用いて単語の意味を調べ、自分なりの現代語訳を試みることを課題としてもらいます。 受動的な学習態度を脱して自ら学ぶ姿勢を確かなものにし、継続的な学習の中で、学力を育てる態度を維持できるようにしよう。